

施工説明書



ルアン ポストなし

このたびは Dea's Garden 製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
正しく組み立てをしていただくために、施工説明書をよくお読みください。

安全上のご注意

◆お使いになる人や他の人への危害、財産の損害を未然に防止するため、必ずお守りください。

⚠ 注意

- ◆製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- ◆施工が不十分だと使用中に転倒する恐れがあります。この施工説明書に従い確実に固定してください。
- ◆強風時など、周囲の安全が確保できない場合は、危険ですので施工しないでください。
- ◆施工の際には手袋を着用してください。

⚠ お願い

- ◆開梱時に部品の種類と数量をご確認ください。
- ◆商品に異常がないことをご確認ください。
- ◆コンクリートの養生は十分に行ってください。
- ◆製品表面に付着したコンクリートや接着剤は速やかに除去してください。
また、施工中についた汚れは速やかにふき取ってください。
- ◆製品はフィルムが巻かれた状態で梱包されています。
汚れ防止のため、埋め込みの際はフィルムを剥がさずに施工し、
コンクリートが硬化してから壁を傷つけないように丁寧に剥がしてください。



基材の EPS 発泡樹脂が溶けますので、溶剤系接着剤の使用は絶対にしないでください。

- もくじ -

必読

- A 使用工具 P.2
- B 各種寸法図、梱包明細表 P.2~3
- C 取付可能なアイテムと制限について P.3~6

ウォールの施工

- D ベースポールの取付 P.7
- E 配線時の施工について P.8
- F ウォールの施工 P.9~10

施工後のオプション類取付

- G 照明の取付 P.11
- H 表札の取付 P.12
- I インターホンの取付 P.13
- J インターホンカバーの取付 P.14~15
- K 壁掛けポストの取付 P.16
- L サイドフェンスの取付 P.17

基礎参考図

- M 隣地境界への施工について P.18~19
- N ウォールの足元に植栽をする場合の施工について P.20

A. 使用工具

施工に際して下記の工具と材料をご準備ください。

【基礎工事、本体施工時に使用するもの】

- ◆コンクリート/モルタル、打設用品
- ◆添え木、当て布
- ◆基礎ブロック
- ◆PF管 (配線時)
- ◆抜け止め用鉄筋など
- ◆ $\varphi 6$ 程度のドリルキリ (水抜き穴加工用)

アイテム取付に必要な別売部品についてはWebをご覧ください



【アイテム取付や配線穴あけ時に使用するもの】

- ◆電動ドライバー
- ◆ $\varphi 3.2$ ドリルキリ
- ◆ $\varphi 3.5$ ドリルキリ
- ◆プラスドライバー
- ◆ $\varphi 20$ 程度のホールソー
- ◆結線用工具
- ◆接着剤:コンクリートボンド等の硬めの接着剤 (支柱差し込み用)
:2液性エポキシ接着剤 5~30分硬化型(アイテム取付に使用)

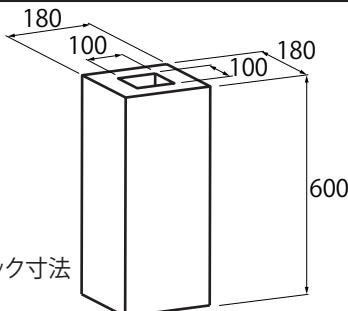
- ◆推奨接着剤:
2液性エポキシ接着剤
5分~30分硬化型



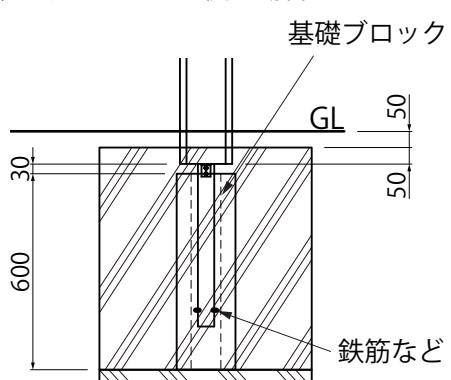
溶剤系の接着剤は内部の発泡樹脂が溶けるため、絶対に使用しないでください。

- ◆ウォールの施工には、
フェンス用基礎ブロックの使用を
お薦めしています。

推奨基礎ブロック寸法
(目安)



◆基礎ブロックを使う場合

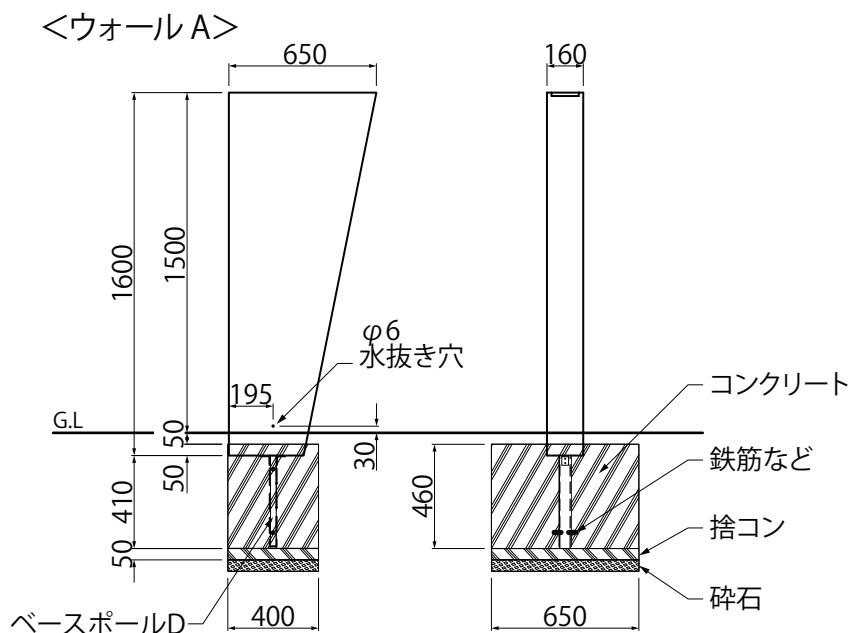


B. 各種寸法図・梱包明細表

・開梱時に部品の種類と数量をご確認ください。

・商品に異常がないことをご確認ください。

■製品寸法および基礎寸法 (単位: mm)



■梱包明細

ウォールA [DPA091*]

名 称	数 量
ウォールA本体	1
保証書	1
施工説明書	1
取扱説明書	1
Lアングル	2
ナベタッピングねじ M4×16	4

ベースポールセットD

名 称	数 量
ベースポールD	1

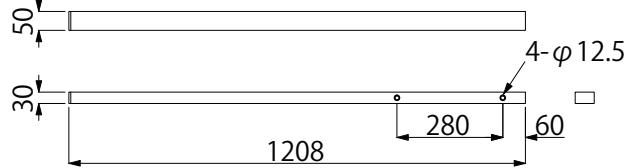
→寸法はP.3をご覧ください

※本体下部 50mmはコンクリートで固めてください

※水抜き穴はウォールの表裏
どちらかにあけてください

B. 各種寸法図(ベースポール寸法図)

■ベースポール D (単位: mm)



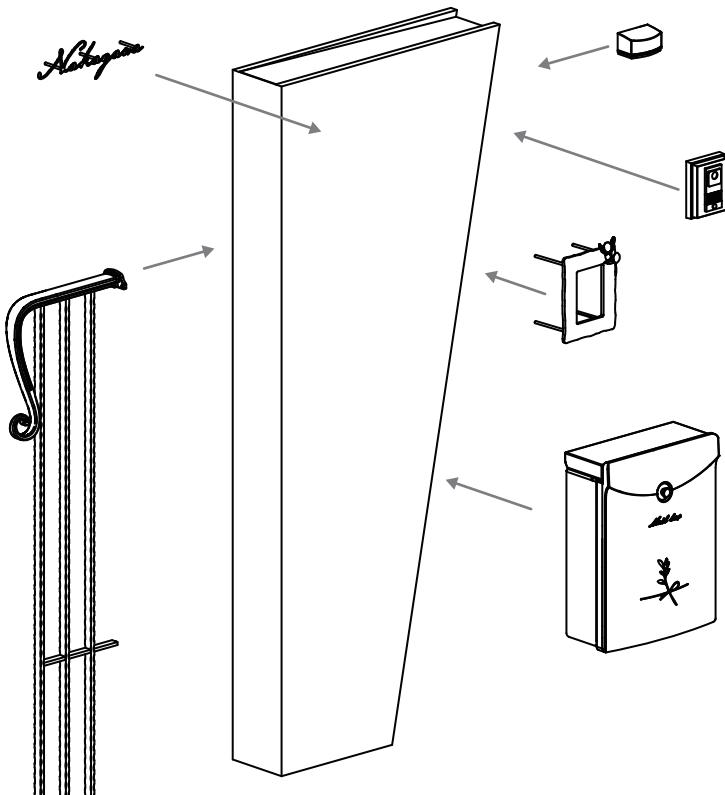
C. 取付可能なアイテムと制限について

■アイテムの取付について①

下記のアイテムは、必ず各アイテムの取付範囲、条件、方法に従い取付けてください。

照明について

取付範囲 → P.4~P.5
取付方法 → P.11



表札について

取付範囲 → P.5
取付方法 → P.12

インターホンについて

取付範囲 → P.4~P.5
取付方法 → P.13

インターホンカバーについて

取付範囲 → P.5
取付方法 → P.14~P.15

壁掛けポストについて

取付範囲 → P.6
取付方法 → P.16

サイドフェンスについて

取付範囲 → P.5
取付方法 → P.17

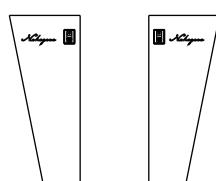
取付可能なアイテムや、
取付に必要な別売部品については
Webをご参照ください

ルアン ポストなし
取付可能アイテム一覧表 QRコード⇒



アイテム類はウォール両面
どちらにも取付けることが
できます

両面とも取付範囲は同じです



※各アイテムの取付位置はそれぞれのページをご覧ください。



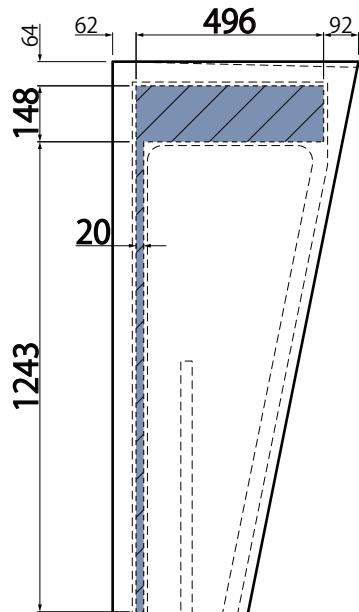
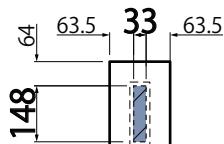
※取付方法についての詳細は、各アイテムの取付説明書を参照してください。

C. 取付可能なアイテムと制限について

■アイテムの取付について② 照明 インターфон 配線穴・取付条件



照明とインターфонの配線穴があけられる範囲（単位：mm）



ウォールA

側面

ウォールA

正面もしくは背面

ウォールA

側面（斜めの面）

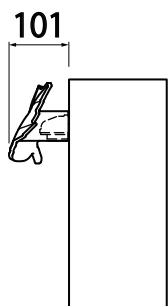
※照明とインターфонは
ウォール両面どちらにも
取付けすることができます
両面とも取付範囲は同じです

※照明とインターфонの
取付位置については、
P.5の取付範囲と合わせて
ご確認ください

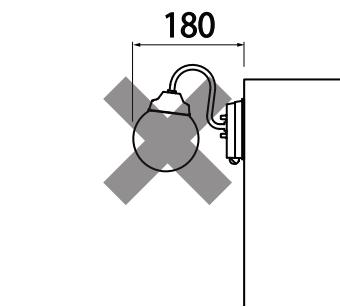
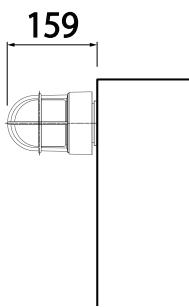
G.L

※取付けられる照明の条件は以下の通りです。

- ①照明器具の厚み：170 mm以内 ②重量制限：1 kg以内 ③取付用のねじの長さ：45 mm以内



例：厚みが170 mm以下の照明器具
→取付可能



例：厚みが170 mmより大きい照明器具
→取付不可

※ウォールウォッシャーを取付ける際には、カールプラグ取付セットA(別売)が必要となります。



※グラスランプや市販の照明器具を取付ける際には、樹脂アンカーセットA(別売)が必要となります。

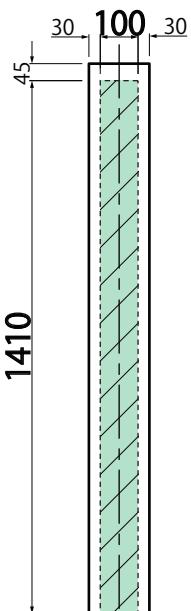
※配線穴の深さは60mmにしてください。

C. 取付可能なアイテムと制限について

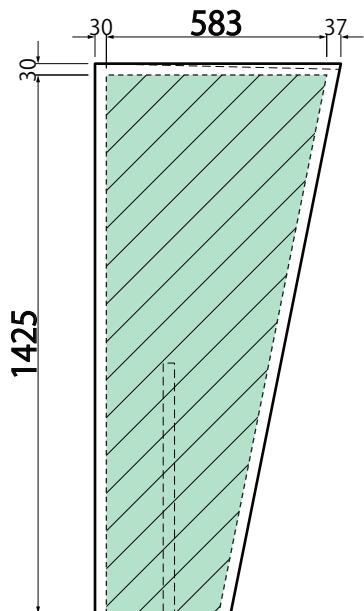
■アイテムの取付について③ 表札 照明 インターホン インターホンカバー サイドフェンス 取付位置図・取付条件

※2 ※2

表札、照明、インターホン、インターホンカバー、サイドフェンスが取付けられる範囲（単位：mm）



ウォール A
側面



ウォール A
正面もしくは背面



ウォール A
側面（斜めの面）

※1

アイテムはウォール両面
どちらにも取付ることができます
両面とも取付範囲は同じです

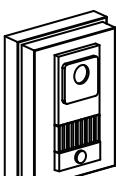
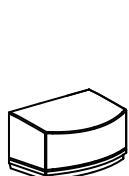
※2

照明、インターホンについては、
P.4の配線穴位置と合わせて
ご確認ください
配線穴付近への取付を推奨します

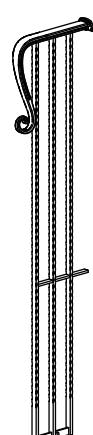
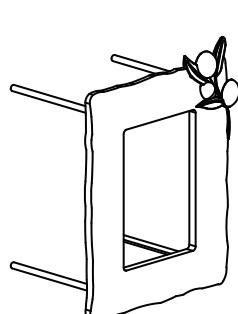
G.L

①取付可能なアイテムと取付に必要な別売部品については、

Web をご参照ください⇒



Nakagawa



取付可能
アイテム一覧表
QRコード



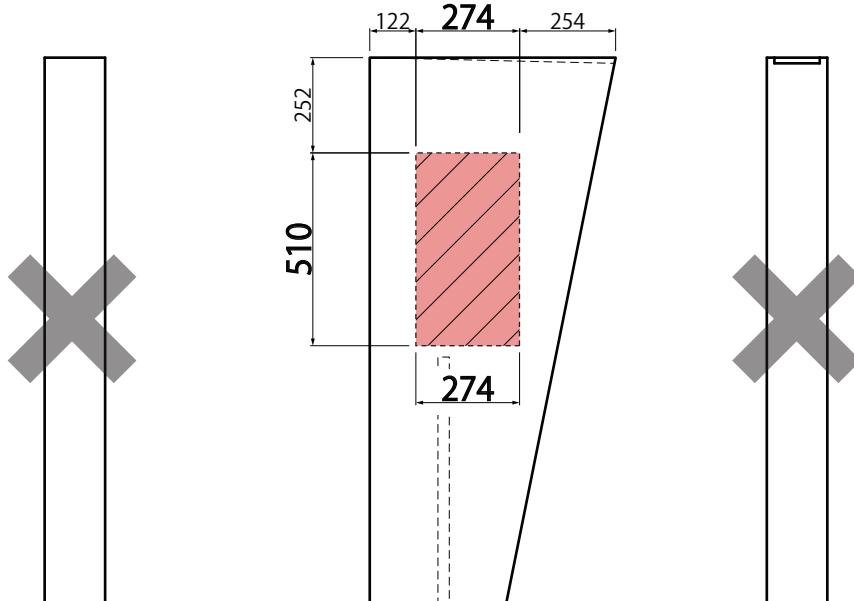
※配線穴まで貫通してしまうため、下穴の深さは45mmまでです。
表札やインターホンカバーの足が長い場合は切断してください。

C. 取付可能なアイテムと制限について

■アイテムの取付について④ 壁掛けポスト 取付位置図・取付条件



壁掛けポストが取付けられる範囲（単位：mm）



ウォールA

側面

ウォールA

正面もしくは背面

ウォールA

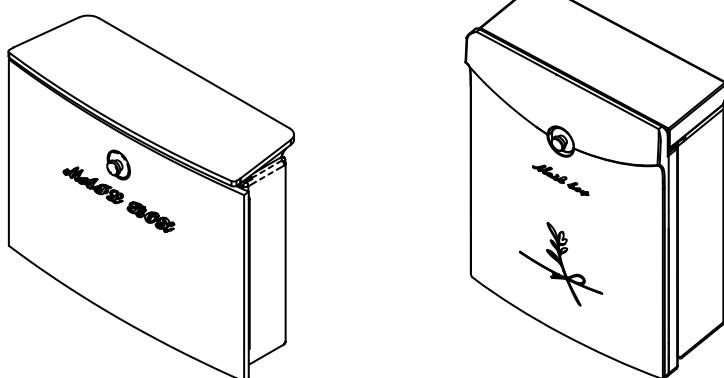
側面（斜めの面）

※壁掛けポストは
ウォール両面どちらにも
取付ることができます
両面とも取付範囲は同じです

①取付可能なアイテムと取付に必要な別売部品については、
Webをご参照ください⇒



取付可能
アイテム一覧表
QRコード



※荷物が入った状態での
ポストの許容耐荷重は
30 kgまでです。

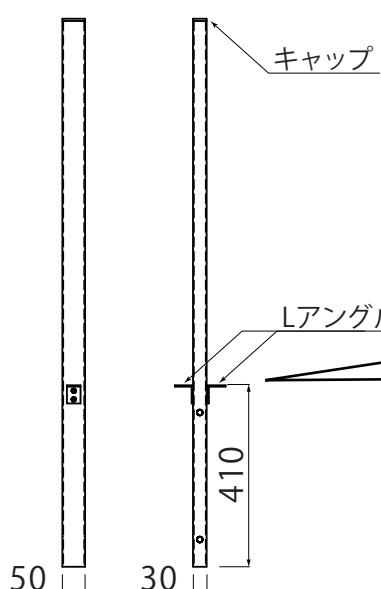


※壁掛けポストを取付ける際には
樹脂アンカーセットA(別売)2セットが必要となります。

D. ベースポールの取付

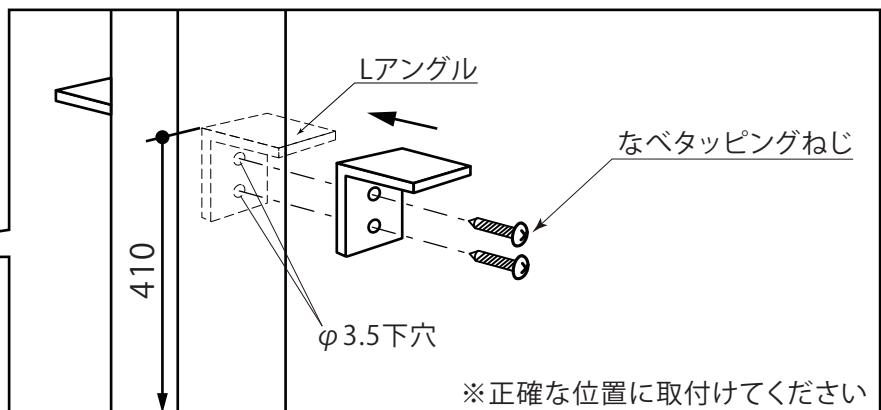
■施工手順（単位：mm）

- 1** ベースポールDの下図の位置に $\varphi 3.5$ の下穴をあけ、Lアングルを2個取り付けます。



使用部材
ベースポールセットD

名 称	数 量
ベースポールD	1
Lアングル	2
なべタッピングねじ M4×16	4

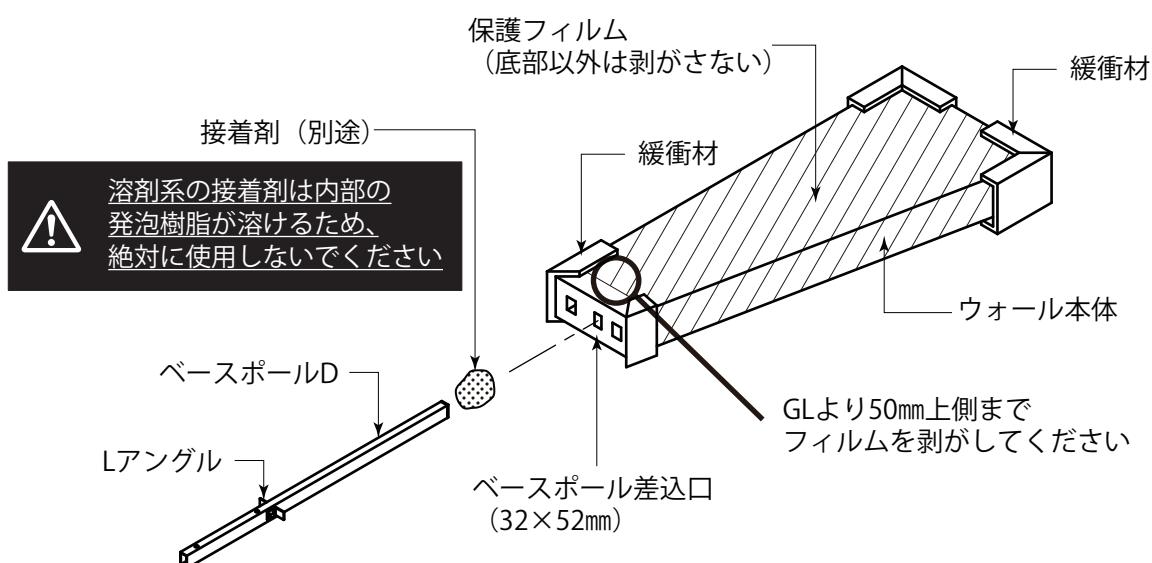


- 2** ウォールに巻かれた保護フィルムと緩衝材は底部のみを剥がします。
ベースポールDに接着剤を塗布し、底面より挿入します。

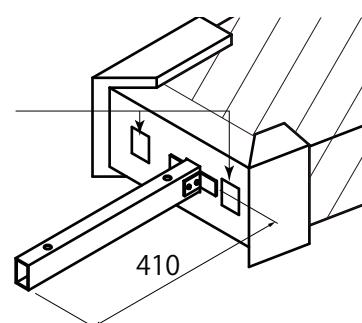
使用部材

ウォールA

名 称	数 量
ウォール本体	1



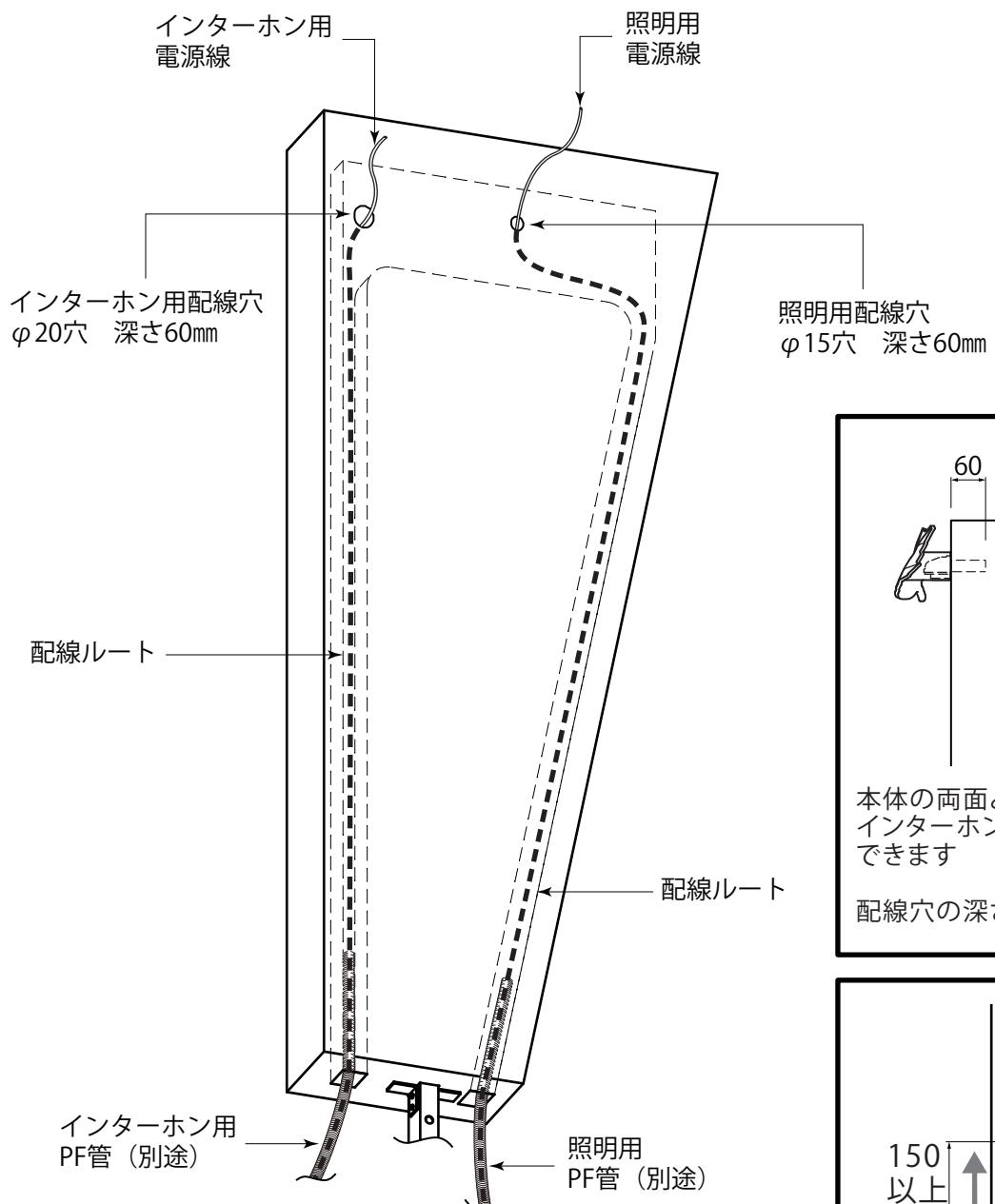
配線用穴
※ベースポール差込口と間違えないようにご注意ください



E. 配線時の施工について

配線例

取付可能な範囲・条件については、P.4をご覧ください。



※詳しい取付方法は **G 照明の取付 (P.11)** **I インターホンの取付 (P.13)** をご覧ください。

※配線は必ず本体の施工前に行ってください。



※AC100Vの電気配線に関わる工事は必ず有資格者が行ってください。

F. ウォールの施工

※施工前には必ず製品に異常がないかをご確認ください。(凹み、キズ、割れなど)

※製品保護のため、施工中はフィルムを剥がさないでください。



※コンクリートやモルタルに、塩分を含む砂のご使用はさけてください。

また、混和剤を用いる場合は、非塩素系または非アルカリ系のものをご使用ください。

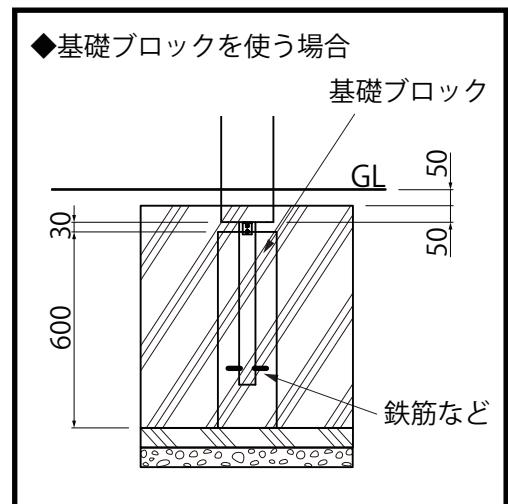
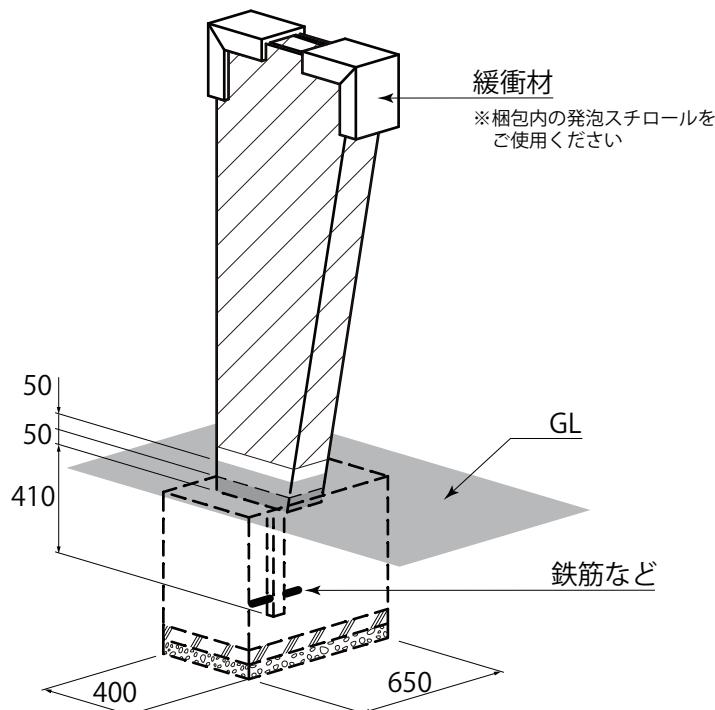
※養生時間を十分に確保し、その間に振動や衝撃を与えないようにしてください。

■施工手順 (単位:mm)

1

基礎寸法図の寸法以上の基礎穴を設け、ウォールを建て込みます。

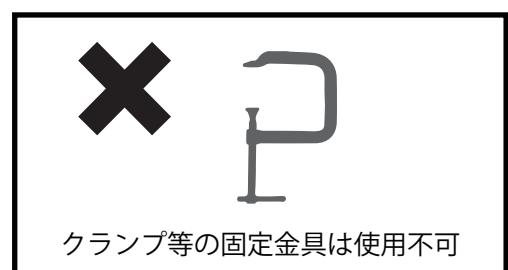
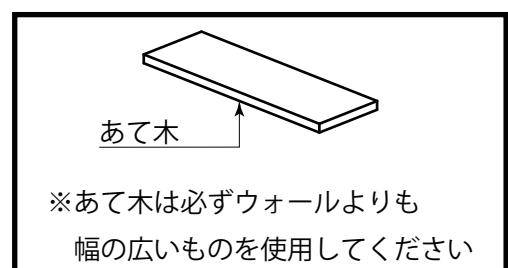
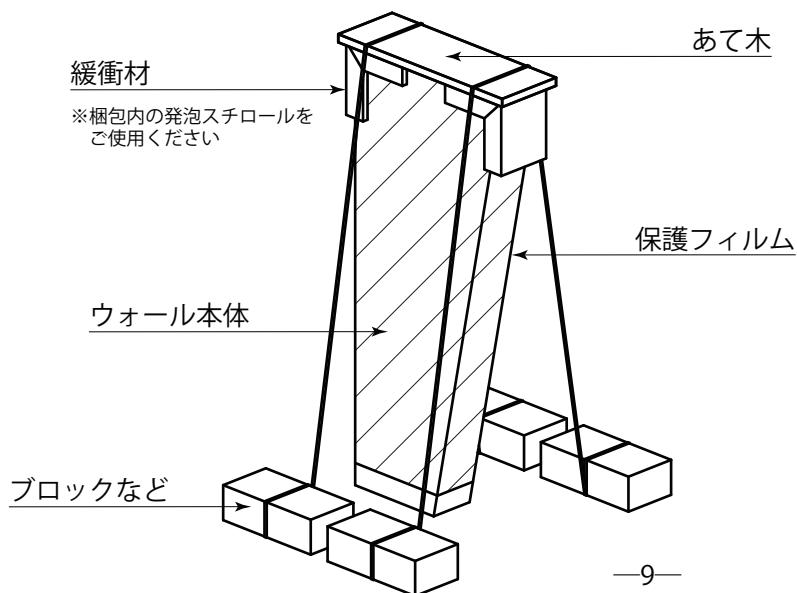
抜け止めの為にベースポールの下部の穴には鉄筋や寸切りボルトなどを挿してください。



2

ウォールを建てる際に、下図を参考に仮固定をしてください。

その際、ウォール本体に直接力が加わらないようにご注意ください。



F. ウォールの施工

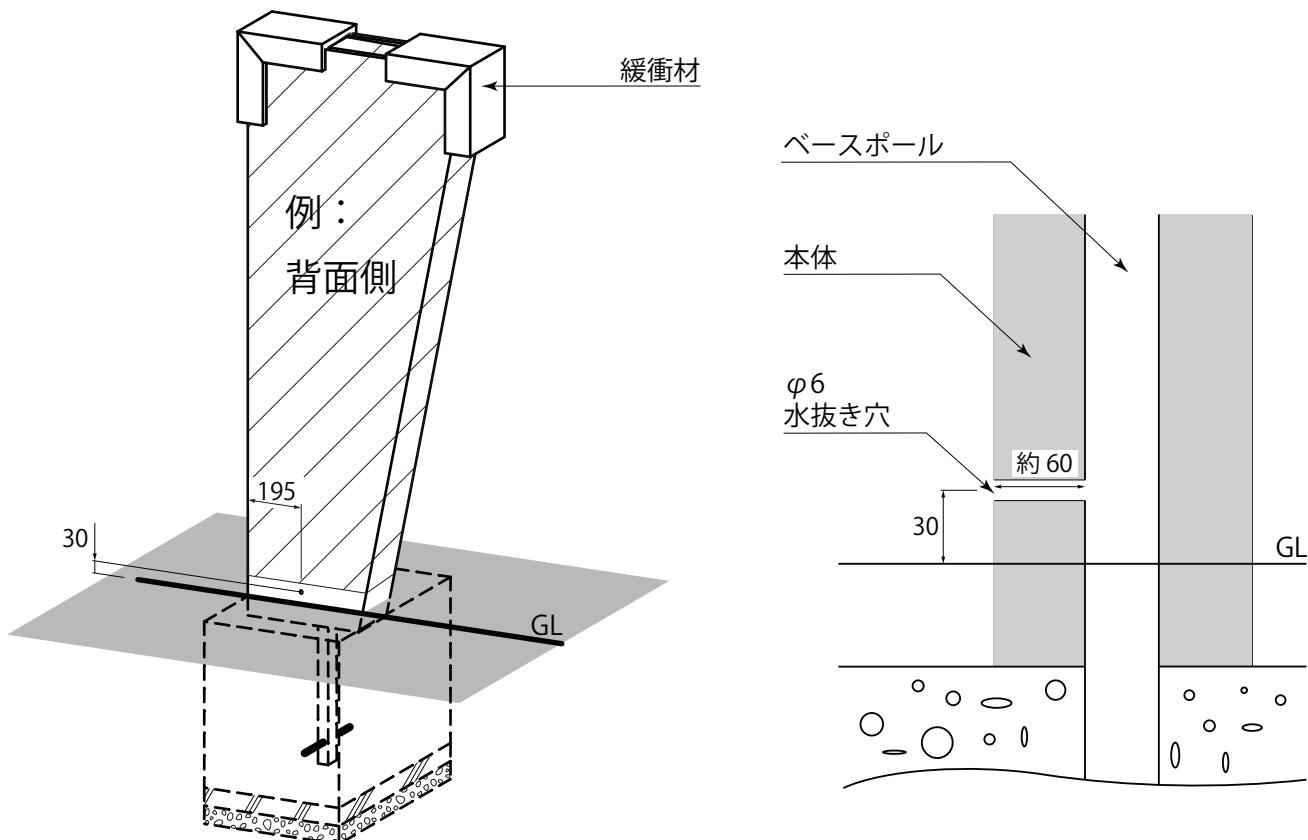
■施工手順（単位：mm）

3

ウォールの水平、垂直を確認し、コンクリートを打ちます。

コンクリートが完全に硬化した後、製品の背面になる面から

ベースポールを貫通するまで水抜き穴を下図の位置にあけてください。



※水抜き穴はウォールの表裏どちらからでもあけられます。
施工後、水抜き穴はコンクリート・土などで
塞がらないようにしてください。

**⚠ 水抜き穴はベースポール内部に到達するように
あけてください**

4

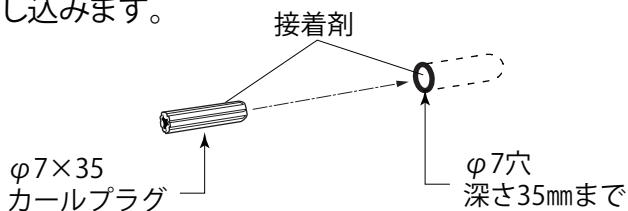
水抜き穴をあけた後、緩衝材と本体の保護フィルムを丁寧に剥がしてください。

G. 照明の取付

■施工手順 (単位:mm) ※施工詳細は、それぞれの取付説明書をご覧ください。

1

取付位置に穴をあけて接着剤を充填します。
カールプラグの外周にも接着剤を塗り、
穴に押し込みます。

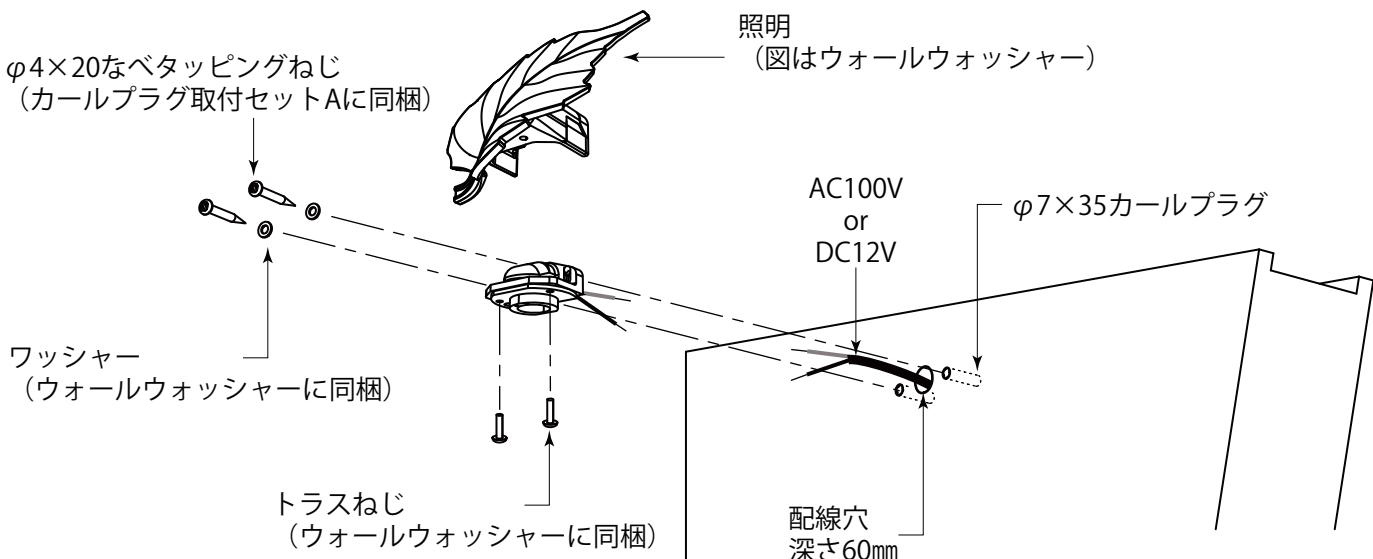


使用部材

名 称	数 量
ウォールウォッシャー	1
+	
名 称	数 量
カールプラグ取付セットA(2個入)	1セット
別途ご準備いただく物	数 量
2液性エポキシ接着剤(5~30分硬化型)	-

2

上記1の接着剤が十分に硬化した後、照明を取付けます。



溶剤系の接着剤は内部の発泡樹脂が
溶けるため、絶対に使用しないでください。

※照明を取付ける際には、カールプラグ取付セットA(別売)が必要となります。

※ウォールウォッシャーはAC100V、DC12Vのものがございますので、
電源はそれぞれの器具に合ったものを正しく使用してください。

※P.4の条件・取付範囲内であれば、市販の照明も取付可能です。



ただし、取付ける際には 木ねじ(長さは45mmまで)を別途ご用意いただけた必要があります。

※なべタッピングねじ(カールプラグ取付セットAに同梱)は必ず手回しで締めてください。

電動ドライバーでの取付けはトルクが強すぎるため共回りする可能性があります。

共回りしてしまった場合、一度カールプラグを抜き、再度接着剤を塗布して

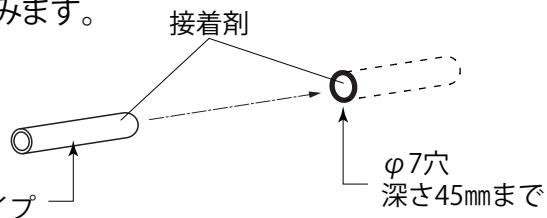
取付けてください。 その際、溶剤系接着剤は使用しないでください。

推奨接着剤:2液性のエポキシ接着剤 5分～30分硬化型

H. 表札の取付

■施工手順（単位：mm）※施工詳細は、パイプセットAと各表札の取付説明書をご覧ください。

1

- 取付位置に穴をあけて接着剤を充填します。
アルミパイプの外周にも接着剤を塗り、
穴に押し込みます。
- 

使用部材

名 称	数 量
表札本体	1

+

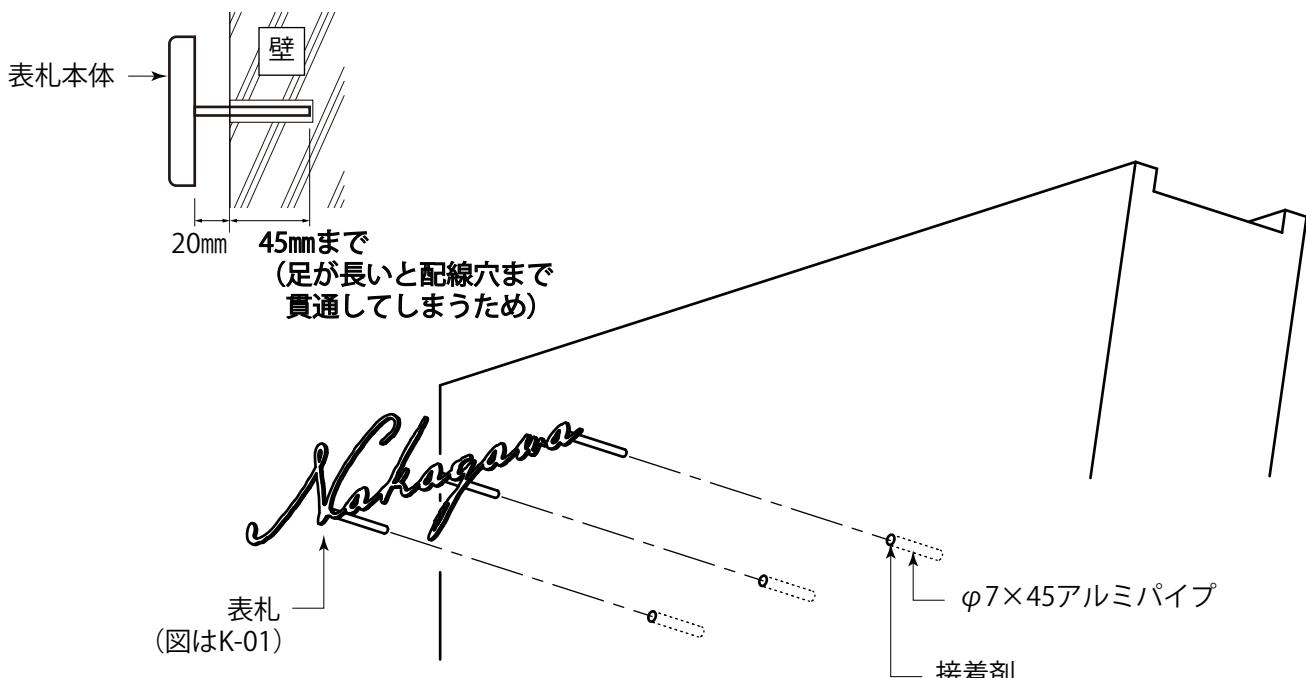
名 称	数 量
パイプセットA(4個入)	1セット

※取付ける表札によっては、部品が余ります。

別途ご準備いただく物	数 量
2液性エポキシ接着剤(5~30分硬化型)	-

2

- 上記1の接着剤が十分に硬化した後、アルミパイプの中に接着剤を充填し、
インターホンカバーの足を挿入して取付けます。



溶剤系の接着剤は内部の発泡樹脂が
溶けるため、絶対に使用しないでください。

※表札を取付ける際には、パイプセットA(別売)が必要となります。

※P.5の条件・取付範囲内であれば市販の表札も取付可能です。



※接着剤を穴に注入する際は汚れ防止のため表札同梱のパッチを使用してください。

※はみ出した接着剤は早めに拭き取ってください。

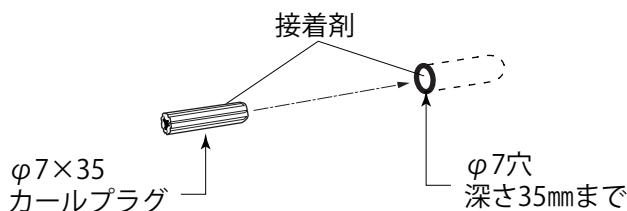
※表札を取付けた後は接着剤が固まるまで動かないようにテープ等で固定してください。

I. インターфонの取付

■施工手順 (単位:mm) ※施工詳細は、お手持ちのインターфонの取付説明書をご覧ください。

1

取付位置に穴をあけて接着剤を充填します。
カールプラグの外周にも接着剤を塗り、
穴に押し込みます。

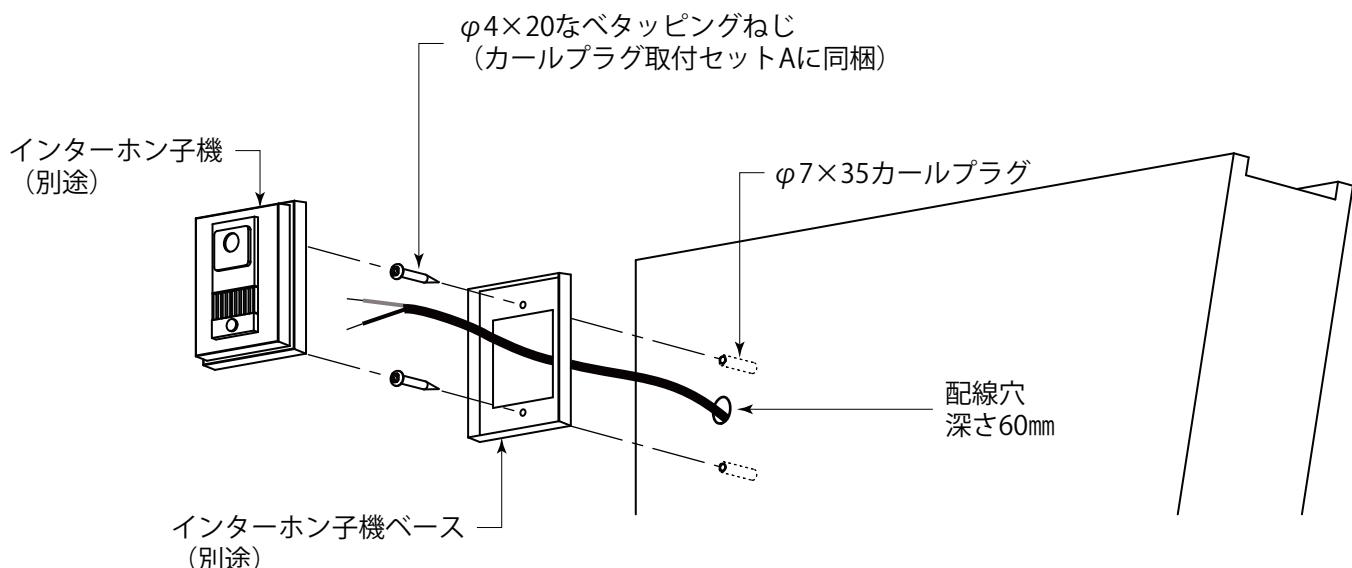


使用部材

名 称	数 量
インターфон(市販)	1
+	
名 称	数 量
カールプラグ取付セットA(2個入)	1セット
別途ご準備いただく物	数 量
2液性エポキシ接着剤(5~30分硬化型)	-

2

上記1の接着剤が十分に硬化した後、インターфонを取付けます。



溶剤系の接着剤は内部の発泡樹脂が
溶けるため、絶対に使用しないでください。

※インターфонを取付ける際には、カールプラグ取付セットA(別売)が必要となります。



※なべタッピングねじ(カールプラグ取付セットAに同梱)は必ず手回しで締めてください。

電動ドライバーでの取付けはトルクが強すぎるため共回りする可能性があります。

共回りしてしまった場合、一度カールプラグを抜き、再度接着剤を塗布して

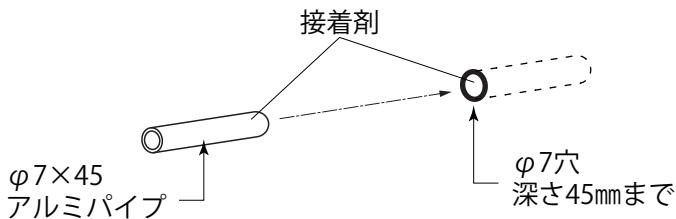
取付けてください。その際、溶剤系接着剤は使用しないでください。

推奨接着剤:2液性のエポキシ接着剤 5分～30分硬化型

J. インターイホンカバー(A-10・A-11/C-13・C-14)の取付

■施工手順 (単位:mm) ※施工詳細は、パイプセットAと各表札の取付説明書をご覧ください。

- 1** 取付位置に穴をあけて接着剤を充填します。
アルミパイプの外周にも接着剤を塗り、
穴に押し込みます。



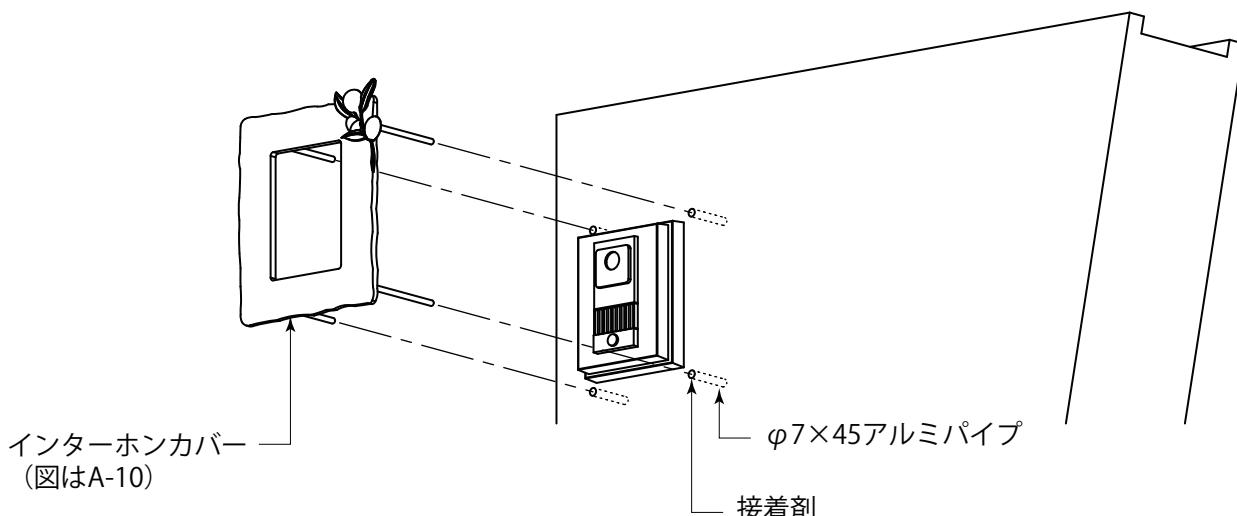
使用部材

名 称	数 量
インターホンカバー (A-10・A-11/C-13・C-14)	1

+

名 称	数 量
パイプセットA(4個入)	1セット
別途ご準備いただく物	数 量
2液性エポキシ接着剤(5~30分硬化型)	-

- 2** 上記1の接着剤が十分に硬化した後、アルミパイプの中に接着剤を充填し、
インターホンカバーの足を挿入して取付けます。



溶剤系の接着剤は内部の発泡樹脂が
溶けるため、絶対に使用しないでください。

※インターホンカバー(A-10・A11/C13・C14)を取付ける際には、
パイプセットA(別売)が必要となります。



※接着剤を穴に注入する際は汚れ防止のため穴の周りを養生してください。

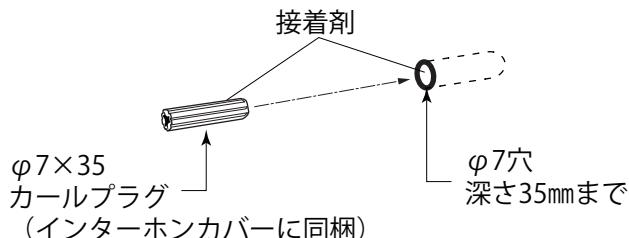
※はみ出した接着剤は早めに拭き取ってください。

※取付けた後は接着剤が固まるまで動かないようにテープ等で固定してください。

J. インターфонカバー(ウッドタイプA/R 外付)の取付

■施工手順 (単位:mm) ※施工詳細は、それぞれの取付説明書をご覧ください。

- 1 取付位置に穴をあけて接着剤を充填します。
カールプラグの外周にも接着剤を塗り、
穴に押し込みます。



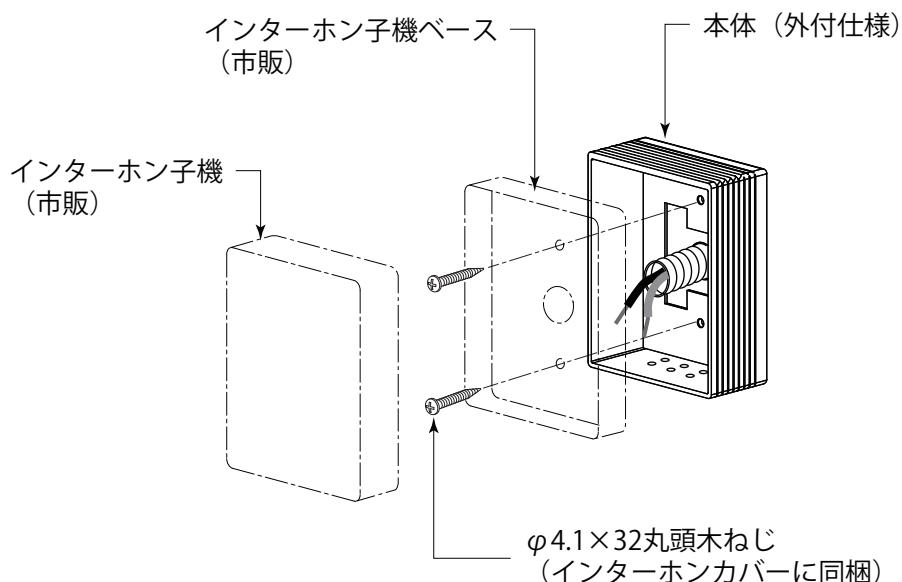
使用部材

名 称	数 量
インターホンカバー (ウッドタイプA/R 外付)	1

+

別途ご準備いただく物	数 量
2液性エポキシ接着剤(5~30分硬化型)	-

- 2 上記1の接着剤が十分に硬化した後、インターホンカバーを取り付けます。



溶剤系の接着剤は内部の発泡樹脂が
溶けるため、絶対に使用しないでください。

※上図以外の詳しい取付工程につきましては、インターホンカバー(ウッドタイプA/R 外付)に
同梱の取付説明書をご参照ください。



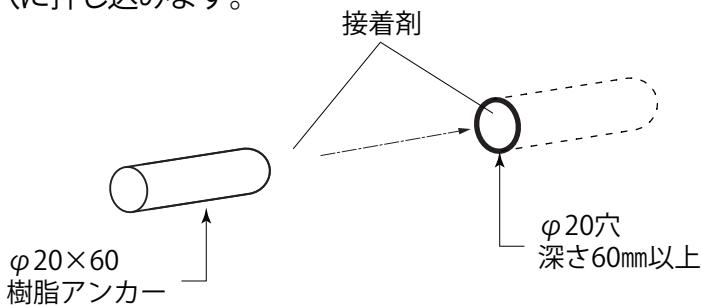
※丸頭木ねじは必ず手回しで締めてください。
電動ドライバーでの取付けはトルクが強すぎるため共回りする可能性があります。
共回りしてしまった場合、一度カールプラグを抜き、再度接着剤を塗布して
取付けてください。その際、溶剤系接着剤は使用しないでください。
推奨接着剤:2液性のエポキシ接着剤 5分～30分硬化型

K. 壁掛けポストの取付

■施工手順 (単位:mm) ※施工詳細は、それぞれの取付説明書をご覧ください。

1

取付位置に穴をあけて接着剤を充填します。
樹脂アンカーの外周にも接着剤を塗り、
穴に押し込みます。

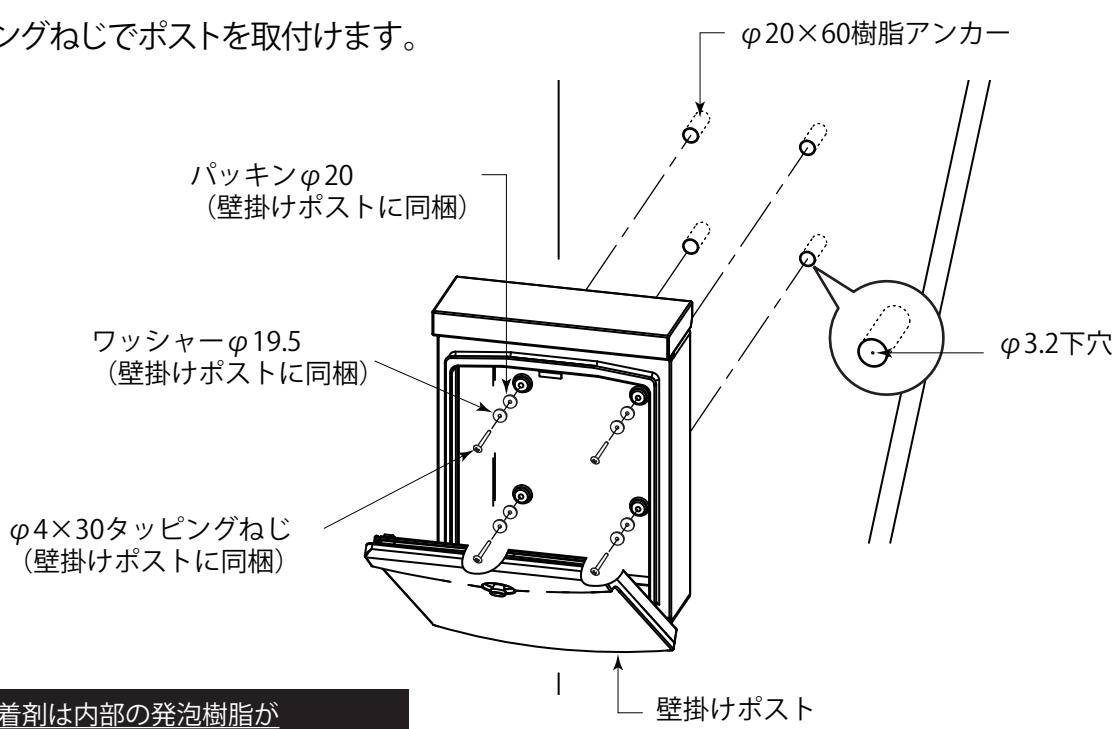


使用部材

名 称	数 量
壁掛けポスト	1
+	
名 称	数 量
樹脂アンカーセットA	2セット
別途ご準備いただく物	数 量
2液性エポキシ接着剤(5~30分硬化型)	-

2

上記1の接着剤が十分に硬化した後、
取付けた樹脂アンカーにφ3.2の下穴をあけます。
φ4タッピングねじでポストを取付けます。



溶剤系の接着剤は内部の発泡樹脂が
溶けるため、絶対に使用しないでください。

※壁掛けポストを取付ける際には、樹脂アンカーセットA(別売)が必要となります。



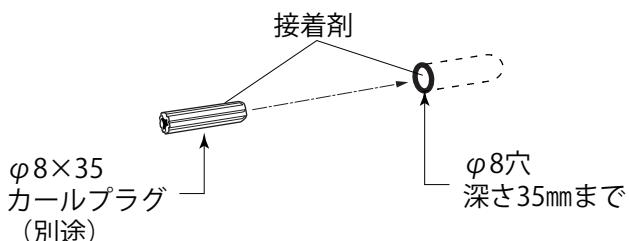
※必ず2液性のエポキシ接着剤をご使用いただいたうえで十分に乾燥させてください。
それ以外の接着剤を使用したり、乾燥が不十分のまま取付けを行うと樹脂アンカーが
共回りする恐れがあります。

※P.6の条件・取付範囲内であれば市販の壁掛けポストも取付可能です。

L. サイドフェンスの取付

■施工手順（単位：mm）※施工詳細は、それぞれの取付説明書をご覧ください。

1

- 取付位置に穴をあけて接着剤を充填します。
カールプラグの外周にも接着剤を塗り、
穴に押し込みます。
- 
- 接着剤
 $\varnothing 8 \times 35$
カールプラグ
(別途)
 $\varnothing 8$ 穴
深さ35mmまで

使用部材

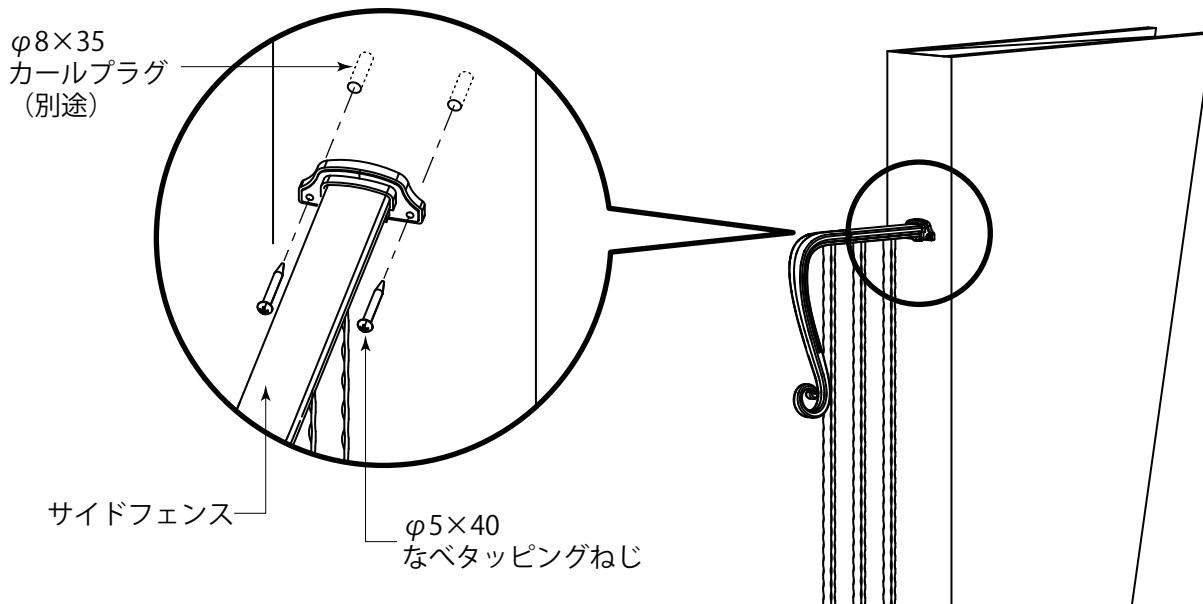
名 称	数 量
サイドフェンス	1

+

別途ご準備いただく物	数 量
$\varphi 8 \times 35$ カールプラグ	2
2液性エポキシ接着剤(5~30分硬化型)	-

2

- 上記1の接着剤が十分に硬化した後、サイドフェンスを取り付けます。



溶剤系の接着剤は内部の発泡樹脂が
溶けるため、絶対に使用しないでください。

※サイドフェンスを取付ける際には、別途 $\varphi 8 \times 35$ カールプラグ2本が必要となります。

※サイドフェンスの足は、取付説明書に従って確実に基礎で固定してください。
基礎固定が不十分だとフェンスがぐらついたり倒れる場合があります。



※なべタッピングねじは必ず手回しで締めてください。

電動ドライバーでの取付けはトルクが強すぎるため共回りする可能性があります。

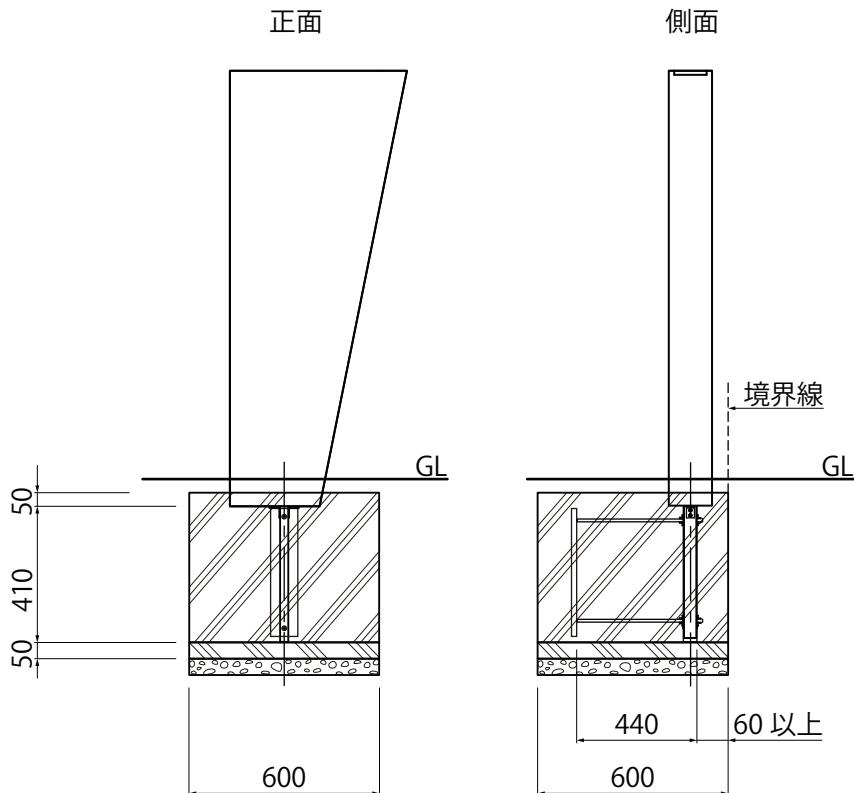
共回りしてしまった場合、一度カールプラグを抜き、再度接着剤を塗布して
取付けてください。その際、溶剤系接着剤は使用しないでください。

推奨接着剤：2液性のエポキシ接着剤 5分～30分硬化型

M. 隣地境界への施工について

敷地の隣地境界などに接近してウォールを施工する場合は、

偏心基礎金具セットを用いて、下図のように基礎の端に寄せて施工します。



梱包明細：
偏心基礎金具セットB

名 称	数 量
偏心基礎金具	1
M12×490 長ボルト	2
M12 ナット	8
M12 ワッシャー	8

※偏心基礎金具セットBは、
「ルアン ポストなし」1台につき
1セット必要になります。

■施工手順 (単位 :mm)

- 1 底面よりベースポール D を挿入し、ナットとワッシャーで M12 長ボルトを固定します。

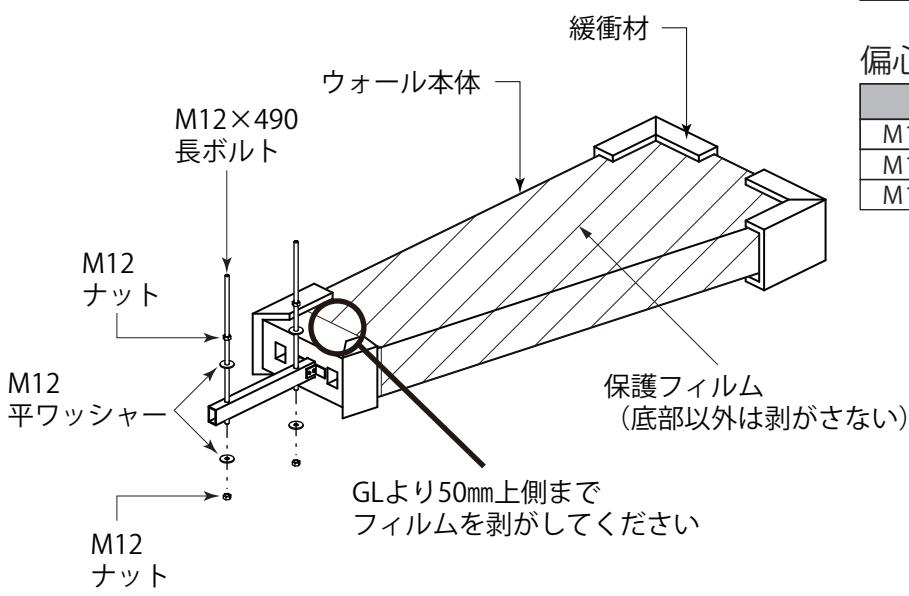
ベースポール D の取付の詳細については、
P.7 をご覧ください。

使用部材

名 称	数 量
ウォール本体	1

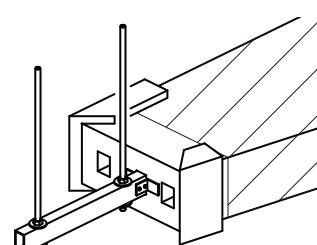
ベースポールセットD

名 称	数 量
ベースポールD	1



偏心基礎金具セットB

名 称	数 量
M12×490 長ボルト	2
M12 ナット	4
M12 ワッシャー	4



M. 隣地境界への施工について

■施工手順 (単位:mm)

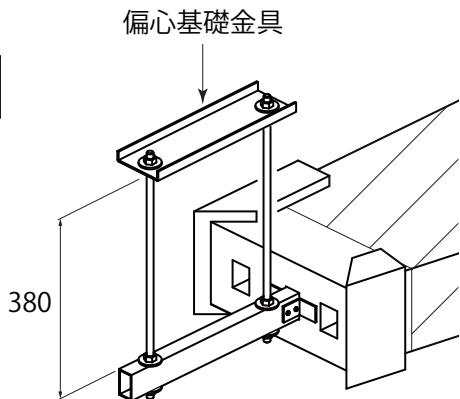
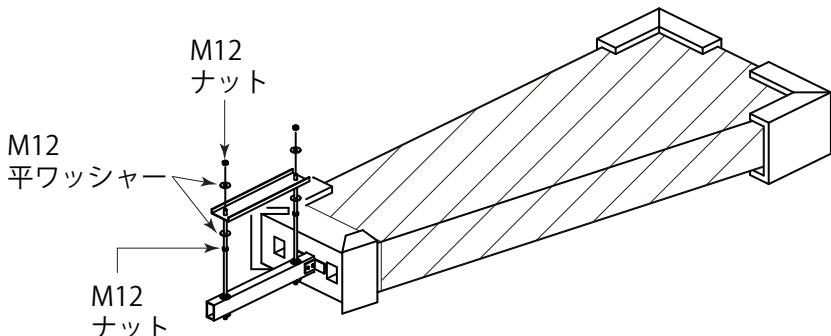
2

M12長ボルトに対して、偏心基礎金具を両側からナットとワッシャーで固定します。

使用部材

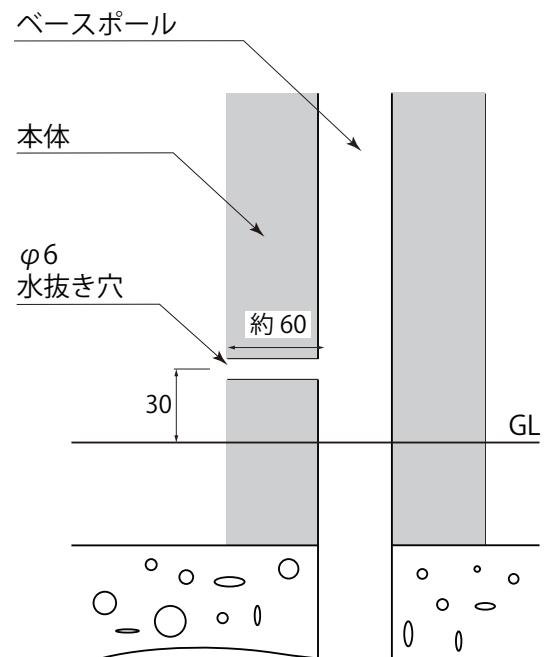
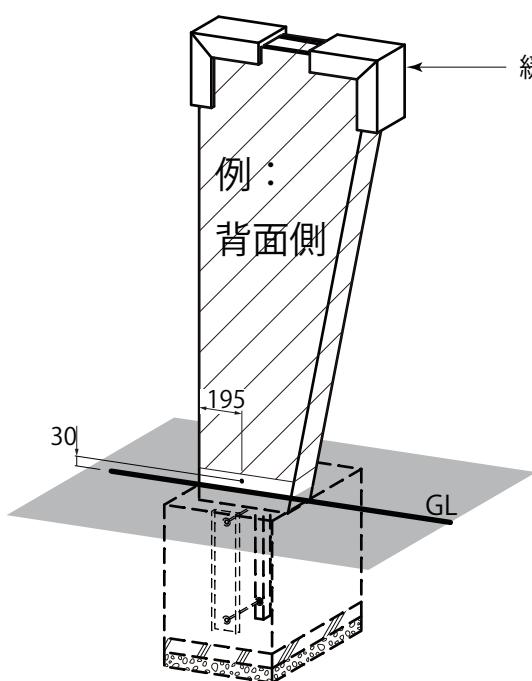
偏心基礎金具セットB

名 称	数 量
偏心基礎金具	1
M12 ナット	4
M12 ワッシャー	4



3

基礎寸法図以上の大きさの基礎穴を設け、ウォールを建て込んでコンクリートを打ちます。コンクリートが完全に硬化した後、製品の背面になる面からベースポールを貫通するまで水抜き穴を下図の位置にあけてください。



水抜き穴はベースポール内部に到達するようにあけてください

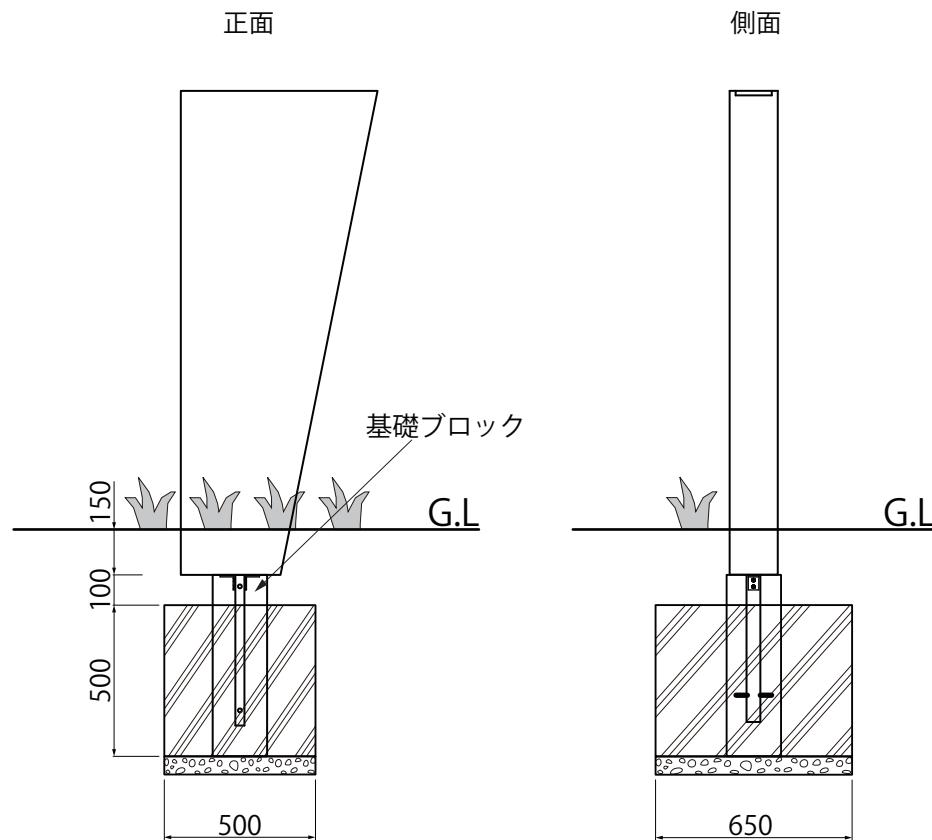
※水抜き穴はウォールの表裏どちらからでもあけられます。
施工後、水抜き穴はコンクリート・土などで
塞がらないようにしてください。

4

水抜き穴を開いた後、緩衝材と本体の保護フィルムを丁寧に剥がしてください。

N. ウォールの足元に植栽をする場合の施工について

ウォールの足元に植物を植える場合は、土の深さを確保するため、図を参考にし、基礎ブロックを用いて基礎を通常より地中深くに設けてください。



※製品保護のため、施工中は保護フィルムを剥がさないでください。

※コンクリートやモルタルに、塩分を含む砂のご使用は避けてください。



また、混和剤を用いる場合は、非塩素系または非アルカリ系のものをご使用ください。

※養生時間を十分に確保し、その間に振動や衝撃を与えないようにしてください。

工事店様へ

- ◆改造、変更はしないでください。
- ◆取付け終了後、製品が確実に固定されていることをご確認ください。



〒601-8317 京都市南区吉祥院新田式ノ段町45
TEL 075-681-2891 FAX 075-662-1190
株式会社 傳來工房

DPA-IM5
2025.12A